

—病院理念— 「愛し愛される病院」

—基本指針—

- 1、私たちは、患者様、ご家族に「おもいやり」をもって接します。
- 1、私たちは、地域に信頼され貢献できる医療を提供いたします。
- 1、私たちは、患者様の在宅復帰を支援いたします。
- 1、私たちは、診療記録を正確に記載いたします。
- 1、私たちは、自己研鑽しよりよい病院を目指します。

【患者様の権利】

- 1、患者様は医療に関する説明を十分受けた上で、治療を受ける権利又は拒否する権利が有ります
- 2、患者様は医師、医療従事者が患者様の知り得た個人情報を守られる権利が有ります
- 3、患者様は病院、医師を自由に選ぶ権利が有ります
- 4、患者様は安全で適切な医療を平等に受ける権利が有ります
- 5、患者様は診療録の開示を求める権利が有ります

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。

杉並リハビリテーション病院が、101全ベッド回復期リハビリテーション病棟になりまして六度目のお正月を迎えました。

回復期リハビリテーション病棟とは、脳梗塞・脳出血・くも膜下出血などの脳血管疾患や大腿骨頸部骨折などの患者さまに対して、日常生活動作の能力向上などを目的にリハビリテーションを集中して行い、自宅復帰と地域社会へ戻ることを支援するための病棟です。

毎年430名近くの患者さまが入院され、その80%以上の方々がご自宅に戻られています。退院された当初は患者さまやご家族もいろいろな不安がおありになることと思います。退院されました患者さまが安心して安全な生活に入られますよう、当院では、ご自宅での生活をイメージしたプログラムに基づいた、患者さま一人一人に合う独自のリハビリテーションを行なっています。また、ご自宅での生活を支援する方々との密なる情報共有や深い係わりができるよう努めております。

「愛し愛される病院」の理念の下、職員一同、熱い思いで、患者さまのリハビリテーションに取り組みます。患者さま、ご家族の皆様ならびに地域から信頼され、地域に貢献する魅力ある病院として更なる飛躍の年となるよう努めてまいります。



院長 かどわき ちかふさ
門脇 親房

新入職医師ご挨拶

平成25年10月1日より勤務させていただいております前田久美子と申します。

医療者として外科、救命救急、緩和ケアと研鑽積む道を歩ませていただきました。様々な方々との出会いの中で、人が人をケアし、支え合い、成長し合う、誰一人同じはないお一人お一人、人間の可能性を気付かせていただく連続でした。

この度、回復期リハビリテーションの現場で明るい多くのスタッフの方々と共に、新しく仕事をさせていただく機会をえることができありがたく存じます。地域に貢献できますよう、日々精進してまいります。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



医師 前田 久美子

*前田医師の外来は第2・4火曜日の午前中に行っております。

リハビリ通信 ~リハビリ機器紹介編~

今年度から運動療法の一つとして可動式免荷装置アンウェイシステムを導入いたしました。アンウェイシステムは、脳卒中や脊髄損傷などで歩行が困難になった場合や長期臥床などで体力が低下し、上肢だけでは十分に身体が支えられない症例において安全で効果的な部分荷重訓練をサポート出来る装置です。

トレッドミルと併用することで、体重移動の仕方や歩行に要する一連の下肢動作練習が可能になります。

当院では、アンウェイシステムを使用する上で患者様に安全に利用して頂くためにマニュアルを作成し、それを使用するスタッフ全員に伝達講習する事でより安全に提供できるよう徹底しております。

今後は、アンウェイシステムも活用しながら日々患者様へより良いリハビリテーションを提供できればと考えております。



<○…アンウェイシステム >

理学療法士 佐久間 達也

薬剤科便り ~スイッチOTC編~

「ロキソニンS」という医薬品を聞いたことがありますか。「ロキソニンS」はこれまで医療用医薬品として長く使用されてきた「ロキソニン」が市販薬として薬店で購入できるようになったものです。このように医療用医薬品が成分そのままに市販薬として購入できるようになった医薬品を「スイッチOTC」といいます。水虫治療薬や禁煙補助薬品などがこれまでにスイッチOTCとして販売されてきましたが、解熱鎮痛薬のロキソニンがスイッチOTCとなり話題を呼びました。これまでに多くの患者に長く使用されてきた医療用医薬品で副作用の少ない比較的 safely 使用できる医薬品がスイッチOTCとして承認されます。医療用医薬品がスイッチOTCとなることで、効果的な医薬品を薬店で購入できるようになり、ちょっと体調の悪いときに自分で出来る治療（セルフメディケーション）の幅が広がるのが期待されています。

一方、スイッチOTCを正しく使用しないと副作用などが起こる可能性もあります。他の薬剤との飲み合わせが問題になることもあります。そのような危険を避けるために、薬剤師に相談してから使用するのがいいでしょう。また、定められた用法、用量を守って正しく服用するようにしましょう。



薬剤師 鈴木 達也

市民公開健康講座を開催しました！

東京都では脳卒中を発症した患者様が、地域において急性期から回復期、維持期、在宅医療に至る切れ目のない医療・介護サービスの提供を受けられる仕組みを構築するために、脳卒中医療連携推進事業を実施しています。杉並・中野・新宿の3区におきましても脳卒中医療連携体制の構築について協議するための区西部圏域別検討会を設けます。

東京都脳卒中医療連携協議会区西部圏域別検討会では、杉並・中野・新宿の区民を対象に脳卒中の予防と治療についての啓蒙活動を目的として12月7日（土）に「2013市民公開健康講座-明るい老後を迎えるために-」を開催致しました。東京医科大学高齢診療科 准教授の櫻井博文先生を講師に迎えて、脳卒中の予防・認知症の予防を内容とする講演と、嚥下・食事動作向上のための実際的なアドバイスを盛り込んだ言語聴覚士による講習会は、おかげさまで好評のうちに終えることが出来ました。

今後とも地域のお役に立てるよう取り組み活動に努めてゆきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

<<講演内容>>

- ・『健康に老いる』
東京医科大学 高齢診療科
准教授 櫻井 博文先生
- ・『自宅で食べて、自宅で暮らす』
～ながく安全に食べ続けるためのワンポイントレッスン～
当院看護師・言語聴覚士

<<講習会の様子>>



看護部

学研ナーシングサポートの導入!!

看護職員の研修・能力開発には日々の業務上での技術・知識の指導と体系的なカリキュラムにより院内集合研修が不可欠です。しかし、勤務体系が様々な看護職では受けた研修があっても勤務の都合上受講できないことや、中堅対象の研修内容・講師の選択・カリキュラム作成などを行う教育担当者も課題が多い状態でした。

ナーシングサポート（看護研修システム）を導入したことによって、時間や場所を選ばずに研修ができることで院内集合研修の不足分を補い、日々の業務上での技術や知識の指導もスムーズに行うことができました。現在は看護職のみならず回復期リハビリテーションに関わる全職員の教育のために利用し、質の向上を図っております。



<受講者・教育担当者の感想>

- ・ 家でも受講が出来るので、休みのときでも勉強できるのが嬉しい。
- ・ シフトの関係で定期的に行われている勉強会には参加できないことがあったりするが自分の都合のよい時間で視聴できるので、とても助かる。
- ・ 中途入職者の職員に喜んでもらっている。
- ・ 講師の先生が認定看護師など専門の方々なので、マニュアルに活用できる。

